



2026年 眼科新薬の展望

今年、眼科臨床への導入が見込まれる注目の新薬を二つご紹介します。

一つは、参天製薬から発売予定の**眼瞼下垂治療薬「アップニーク®ミニ点眼液0.1%」**です。これは、まぶたを持ち上げる「ミュラー筋」に直接作用し、眼瞼下垂を改善する効果が期待されています。これまでこの疾患は進行すると手術以外の選択肢がありませんでした。点眼薬が登場することで、どの程度の患者さんに効果が及ぶのか、非常に興味深い新薬と言えます。

もう一つは、千寿製薬から発売される**ドライアイ治療薬「アバレプト®懸濁性点眼液0.3%」**です。ドライアイは症状のバリエーションが広く、多角的な症状と自覚症状が一致しないことも少なくありませんが、この薬は「なんとなく目が痛い、違和感がある」といった感覚的な不快感の緩和に効果を発揮します。

いずれも眼科領域をけん引するリーディングカンパニーによる、今までにない新規性を備えた薬剤です。潜在的な患者数が多い分野でもあり、治療の選択肢が広がることを心より歓迎したいと思います。

2025年のまとめ

2025年は延べ、**9600名**という大変多くの皆さまのご縁をいただきました。昨年4月の体制変更に合わせて、火曜日も予約制を導入しました。お時間の有効活用に繋がっていただければ幸いです。

これからも皆様の目の健康を支えるパートナーとして、居心地のよいクリニック作りに励んでまいります。

アンケートのおねがい

お待ちの間に、ほんの少しだけお力をお貸しいただきませんか？ 皆さまからの「もう少しこうしてほしい」「ここが良かった」という率直なお声が、私たちの何よりのヒントになります。

**1分ほどで
終わる簡単な質問**

ですので、スマホの操作のついでに、ぜひご回答いただけますと幸いです。

